FM6T・Ⅰ取扱説明書

小便器用自動洗浄器

# Flush Man

フラッシュマン

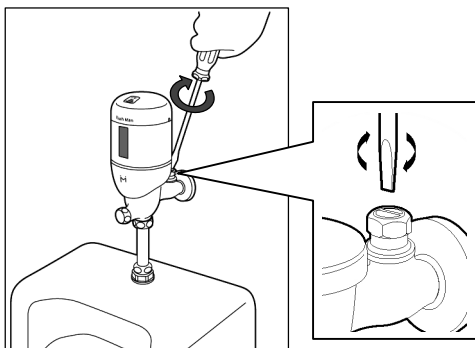
このたびは「フラッシュマン」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能が充分に発揮されますよう、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

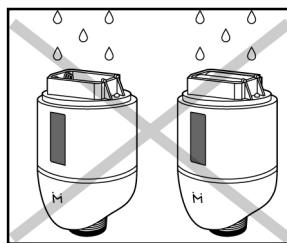


**工事業者様へのお願い　：　必ずユーザー様へお渡しください。**

201209-4

# ⚠ 安全上のご注意

１．万が一水が止まらなくなった時は、フラッシュバルブの止水栓（右図参照）、または水道の元栓を閉じて止水してください。そのまま放置しておきますと、漏水による事故の原因となります。

２．「フラッシュマン」を取り付ける前に、小便器のトラップや排水管に詰まりがないかお確かめください。排水が不十分な状態で使用しますと、便器から水があふれ、漏水事故の原因となります。

３．本体キャップを外した状態（特に本体取付時など）では、水が掛からないようにご注意ください。動作制御部に水が掛かりますと、動作不良やアルカリ乾電池のショートによる発熱・発火等の原因となります。

４．アルカリ乾電池を充電・ショート・分解・加熱したり、火中に投入しないでください。漏液・発熱・発火・破裂・膨張等の原因となります。

５．使用済みの電池を廃棄するときは、テープなどを巻き付けて絶縁してから、市町村などの指定された分別廃棄方法に従ってください。

６．本器をご自分で分解・修理しないでください。故障の原因となります。

# 1　特 長

「フラッシュマン」は、コンパクトなボディに多彩な機能を満載しています。

## 自動洗浄機能

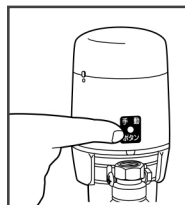
■正面のセンサで使用者を感知して自動で小便器を洗浄します。

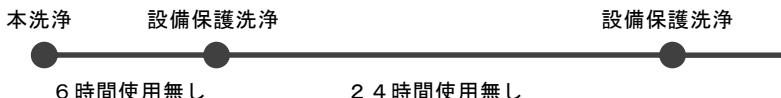
■設置現場の機器や水圧・配管状況等の違いに対応できるよう、基本となる洗浄時間を［３，５，８，１２秒］から選択できます。
※出荷時設定は５秒

■前洗浄設定スイッチにより前洗浄の[有]／[無]を設定できます。
※出荷時設定は前洗浄[無]
※前洗浄[有]の設定でも使用状況により前洗浄を省く場合が有ります。

■使用頻度や使用時間などの使用状況により、前洗浄を省いたり、本洗浄時間を減らすなど節水洗浄を自動制御します。

## 手動洗浄機能

■本体背面の「手動ボタン」を押すと、必要な時に水が流せ、便器清掃時などに大変便利です。

## 設備保護洗浄

■尿石の付着を防ぐため、小便器を使用しない時に定期的に自動洗浄。清潔維持と設備保護を行います。（最終使用から６時間後と、その後は２４時間連続未使用時に自動洗浄）

## 洗浄停止モード

■掃除の時など自動洗浄を停止したい場合は、自動洗浄を停止できます。
※設定方法はＰ８［７］をご参照ください。

## 渇水モード

■渇水時など給水制限がある時は、自動洗浄の吐水量を通常の約半分にします。
※設定方法はＰ９［８］をご参照ください。

## 簡易凍結防止機能

■制御基板上の温度センサが温度を測定し、３℃未満になると、測定温度に応じて１０･１５･２０･３０分ごとに間欠吐水を行います。
※本機能は水の持つ熱を利用して凍結防止を計る仕組みです。配管途中で水が冷えてしまいますと機能しません。給水の配管は充分保温するか、凍結防止ヒーターを設置するなどしてください。
※出荷時設定は「切」になっています。

## 電池消耗告知機能

■電池交換時期になるとＬＥＤが常時点滅(１秒間隔)してお知らせします。
※詳細はＰ12[13]をご参照ください。

## センサ連続感知告知機能

■センサが 10 分以上連続して感知状態になると、ＬＥＤが 10 秒間隔で４回点滅してセンサの異常をお知らせします。
※詳細はＰ12[13]をご参照ください。

## 検出間隔の調節

■電池セット後の 10 分間は 0.5 秒間隔で検出します。（感知距離調節の為）

■10 分経過後は 1 秒間隔で検出しますが、未使用の時間が続くと検出間隔を最長 3 秒まで広げて電池の消耗を減らします。

# 2 取付前のお願い

１．水洗用水は、上水道をご使用ください。中水道や異物を多く含む水を使用しますと、故障の原因となりやすいので、事前にご相談ください。

２．本体を取り付ける前に、まず相手のフラッシュバルブのメーカーと品番を確かめ、「フラッシュマン」の適合品番か否かを確認してください。

ＦＭ６Ｔ／TOTO 製 T60RN(X), T60P(X), T60S(X), T60SQ(X), T60PQX, T60RNF, T60PF, T60SF, TU100P
ＦＭ６Ｉ／INAX 製 UF-2, UF-3, UF-4, UF-2NH, UF-3NH, UF-4NH
カクダイ製 7410, 7411

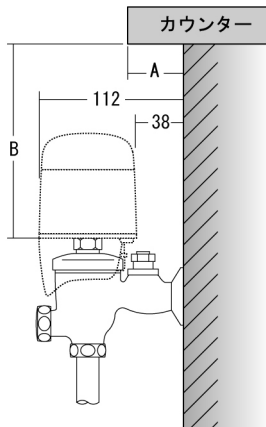
３．取付対象バルブが変形・損傷などをおこしていると、取り付けられない場合があります。事前にご確認ください。

４．取付予定個所にカウンター等が突き出している場合は、フラッシュバルブ上に一定の取付空間(右図参照)が必要となりますので、ご確認ください。

５．センサの感知範囲内に手すりがある場合は、動作障害を起こすことがあります。事前にご相談ください。「反射防止シート」(無償)を手すりに巻いていただくことで、正常に動作する場合もあります。

６．雨や水滴等がかかるおそれのある場所、および高温多湿な所では使用しないでください。

７．感知窓に直接太陽光が当たる場所では、誤作動するおそれがあります。窓からの直射日光にご注意ください。

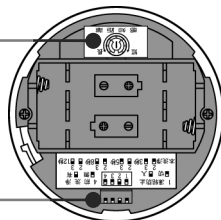
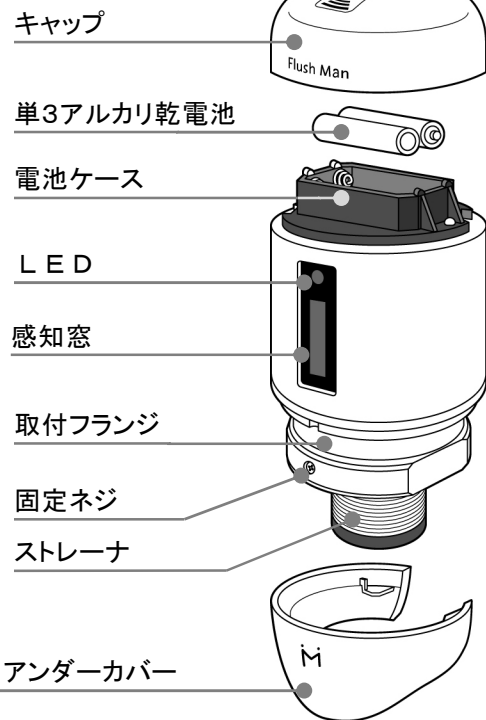
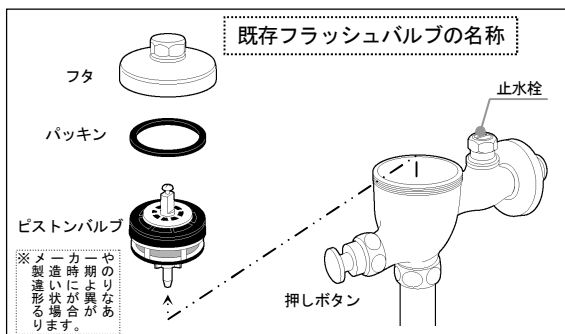
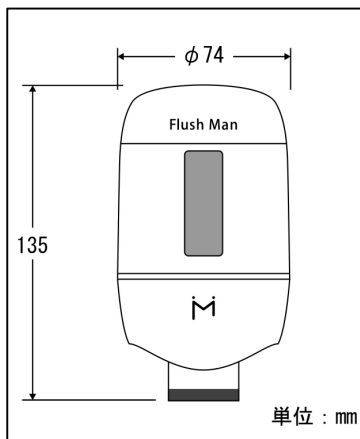
カウンターが35㎜以上(Ａ寸法)突き出している場合、フラッシュバルブ上の取付空間(Ｂ寸法)が130㎜以上必要です。

# 3 各部の名称と本体寸法図

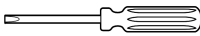
## 本体寸法図

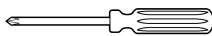
φ74

135

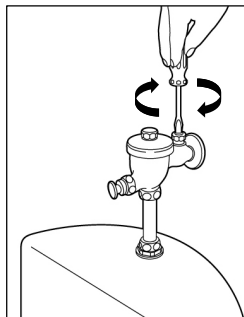
Flush Man

単位：mm

# 4 取付方法

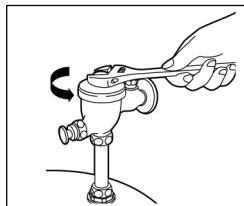
● 必要な工具

モンキーレンチ

マイナスドライバー

プラスドライバー

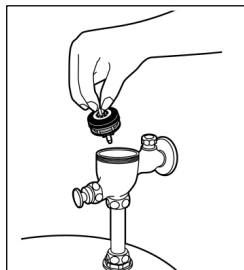
## ❶. 止水栓を閉じ､フラッシュバルブ内の水を抜く

マイナスドライバーで、フラッシュバルブの止水栓を閉じてください。
その後押しボタンを押し、フラッシュバルブ内の水圧を抜いてください。

## ❷. フラッシュバルブのフタを開け、中の部品を取り出す

モンキーレンチをフラッシュバルブのフタの六角ナット部にかけ、時計と反対方向にまわして緩め、開けてください。再度押しボタンを押し続け溜まり水を抜いてください。

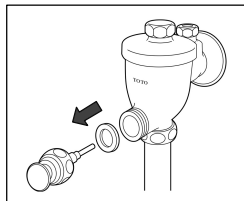
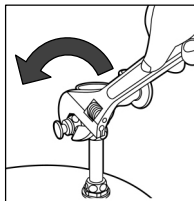
※部品取り出しの前に、周囲に布などを敷くと水ぬれ、汚れ防止になります。

フラッシュバルブ内のパッキンやピストンバルブを取り出して空にしてください。そのあとフラッシュバルブ内に付着しているゴミや錆・水垢等を、布等できれいに拭き取ってください。

※ピストンバルブを手でつまみ出せない場合はプライヤ・ラジオペンチ・ピンセット等を利用して取り出してください。

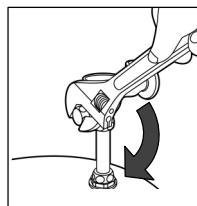
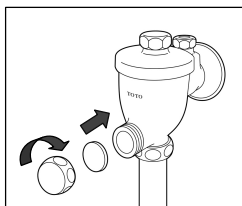
※フラッシュバルブ内面にゴミや錆・水垢等が付着している状態で「フラッシュマン」を取り付けますと、フラッシュバルブ内面との間にわずかな隙間が生じ、水漏れの原因となるおそれがありますのでご注意ください。

## ❸. 押しボタンを取り外す

モンキーレンチを押しボタン部の六角ナットにかけ、時計と反対方向に回してナットを緩めてください。

ナットを持って押しボタン部を引き抜き、パッキンごと取り外してください。

※パッキンがフラッシュバルブ本体に固着している場合がありますが、必ず取り除いてください。

## ❹. キャップナットを取り付ける

キャップナットに付属のパッキンを入れ､フラッシュバルブの押しボタン部取付口にネジ込んでください。

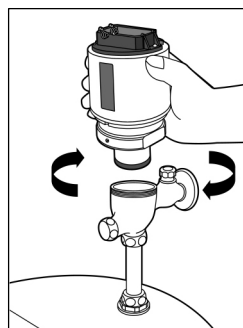
最後に､モンキーレンチでしっかりと締めてください。

## ❺. 本体装着

空になったフラッシュバルブに「フラッシュマン」を垂直に差し込み、両手で時計と同方向にネジ込んでください。回らなくなるまで（２～３回転以上）しっかりとネジ込んだ後、逆に回して少し緩め感知窓を正面に向けてください。

※本体装着の際、電池・制御部に水が掛からないようご注意ください。故障の原因となります。

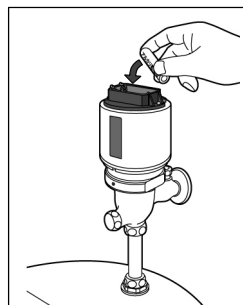
※感知窓は必ず正面に向けてください。向きが正しくないと、感知が正常に行われません。

※ネジ込む際は必ず両手で行ってください。工具等で締め過ぎますと、本体を損傷します。

※本体がフラッシュバルブに垂直に差し込まれていない状態で無理にネジ込みますと、ネジ山が欠け正しく装着できないおそれがありますのでご注意ください。

■感知窓を正面に向ける際、逆に回して少し緩めても水漏れの心配はありません。

## ❻. 付属の電池をセット

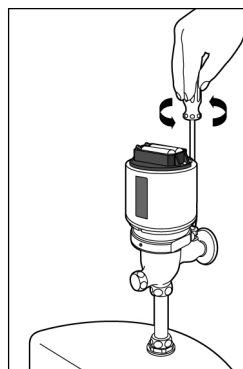
付属の単３アルカリ乾電池２本を電池ケースの(+) (−) マークにしたがってセットしてください。
電池をセットした直後にＬＥＤが１秒間点灯します。

※希に輸送中の振動で電磁弁が開いてしまうことがありますので、必ず電池をセットしてから止水栓を開けてください。

## ❼. フラッシュバルブの止水栓を開ける

マイナスドライバーで、フラッシュバルブの止水栓を開けてください。

※フラッシュバルブの止水栓を開けた時、本体取付フランジとフラッシュバルブの隙間または便器内に水が漏れ出している場合は、本体装着（ネジ込み）が不十分と考えられます。止水栓を閉じてから、本体を取り外し、本書P6[4:取付方法]の(5.本体装着)の手順からやり直してください。

**動 作 確 認**　出荷時設定値（前洗浄：無　本洗浄：5秒）での動作

動作確認は電池セット後 10 分以内に行ってください。
10 分経過するとセンサ感知時にＬＥＤが連続して点灯しなくなります。

① 小便器を使用する位置に立つとＬＥＤが点灯します。

② ６秒以上ＬＥＤが点灯してから立ち去ると、ＬＥＤが消灯して電磁弁が約５秒開いて［本洗浄］します。

※ ＬＥＤ点灯後６秒以内に立ち去った場合は、便器を使用していないと判断して本洗浄を行いません。

※ 立ち去ってもＬＥＤが点灯したままで本洗浄を行わない場合は、センサが手すりバーや壁などの“何か”を感知していると考えられます。本書Ｐ11[12]の「■ 感知距離の調整」に従い、感知距離を短くしてください。

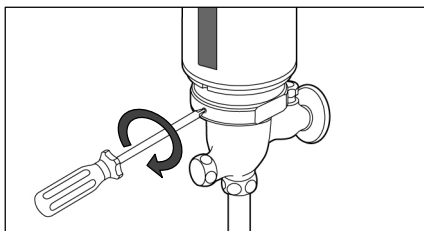
※ 洗浄時間を変更したい場合は、本書 P7[5:設定スイッチ」を参照して設定変更してください。
尚、洗浄水量は、フラッシュバルブの止水栓を開け閉めすることでも簡単に調節できます。

※ 電池セット後 10 分以上経過してしまった場合は、一旦電池を抜き、手動ボタンを２秒以上押してからもう一度電池をセットしてください。再び 10 分間ＬＥＤが点灯するようになります。

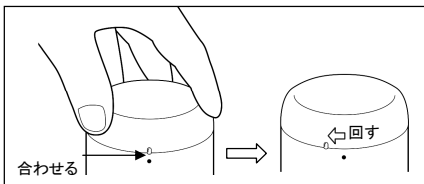
### ❽. 固定ネジを締め付ける

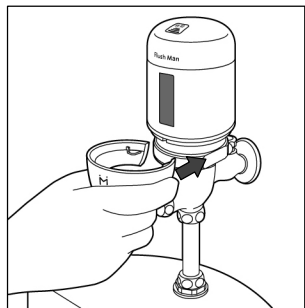
取付フランジ正面にある固定ネジをプラスドライバーで時計と同じ方向へ軽く締め付けます。

※ 固定ネジはネジ込んで取り付けたフラッシュマン本体が回転するのを防ぐためのネジです。出荷時は本体にネジ込まれていますが、落下させないように注意してください。

---

### ❾. キャップを閉じてロック

キャップの小さな突起を本体の「ロック解除穴」に合わせて被せ、キャップを時計と同方向に約 1cm 程度回してください。「カチッ」と音がしてキャップがロックされます。

---

### ❿. アンダーカバーを取り付ける（取付完了）

取付フランジの前方から水平方向にアンダーカバーを差し込みます。

## 5 設定スイッチ

| 1 | 簡易凍結防止機能 | 奥 | 切 |
|---|---|---|---|
| | | 前 | 入 |

| 2･3 | 2 | 3 | 本洗浄 |
|---|---|---|---|
| 本洗浄<br>設定時間 | 奥 | 奥 | 3 秒 |
| | 前 | 奥 | 5 秒 |
| | 奥 | 前 | 8 秒 |
| | 前 | 前 | 12 秒 |

| 4 | 前洗浄の 有／無 | 奥 | 無 |
|---|---|---|---|
| | | 前 | 有 |

※ 前洗浄［有］の設定でも本洗浄終了から３分間は前洗浄を行いません。

□ スイッチの位置

■出荷時設定

簡易凍結防止機能：切
本洗浄時間設定：５秒
前洗浄：無

## 6 洗浄のしくみ

**感　知**

感知窓から 30～40cm 以内に接近するとセンサが感知します。

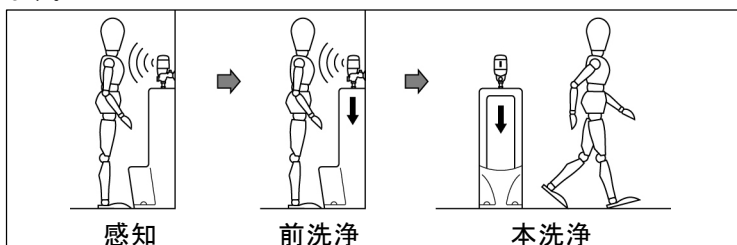
■電池セットから 10 分間：センサ感知中は LED が連続して点灯します。
■10 分間経過後：センサが感知すると一瞬(約 10m 秒)LED が点灯します。
■渇水モード：センサが感知すると LED が 1 秒間隔で２回点滅します。

**前洗浄**

前洗浄[無]の場合は前洗浄を行いません。前洗浄[有]の場合はセンサ感知後約２秒で前洗浄(1～3 秒)をします。但し、本洗浄終了から３分間と渇水モード中は前洗浄を省略します。

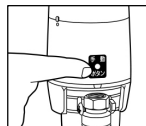
※使用状況によりセンサの検出間隔が長くなっている場合は、前洗浄開始まで約５秒程度かかる場合もあります。

**本洗浄**

使用後、小便器から離れると、本洗浄をします。尚、使用時間が短い場合や使用頻度が高く前の使用者との間隔が短い場合は洗浄水量を少なめにします。また、本洗浄中に次の使用者が来た場合は本洗浄を中断する場合も有ります。

**手動洗浄**

手動手動ボタンを約１秒押すとセンサによる吐水とは別に、適時吐水することが出来ます。

※手動洗浄開始後一旦離したスイッチを止水前にもう一度押すと、スイッチを押している間最長約 30 秒間吐水することが出来ます。

※手動洗浄の最初から「手動ボタン」を連続して押し続けると、「洗浄停止モード」や「渇水モード」に移行しますのでご注意ください。

## 7 洗浄停止モード

■ センサが機能を停止して自動洗浄を停止します。■ 手動ボタンを押すと手動洗浄します。
■ 10 分経過するとセンサが復帰して自動洗浄を行うようになります。

❶：手動ボタンを押し続けます。

❷：１秒以内に吐水を開始します。

❸：止水するまで手動ボタンを押し続け、止水したら手を離す。

❹：洗浄停止モードになり LED が７秒間隔で２回点滅を繰り返します。

【洗浄停止モードを途中で終了する手順】

❶：手動ボタンを押し続けます。

❷：１秒以内に吐水を開始します。

❸：止水するまで手動ボタンを押し続け、止水したら手を離す。

❹：センサが復帰し、LED の点滅が止まります。

※ 洗浄停止モードに切り替える際は、切り替わるまで手動ボタンをしっかり押し続けてください。途中で手を離すと洗浄モードに切り替わりません。(終了する時も同じです)

# 8 渇水モード

■ 自動洗浄の水量を通常の概ね半分にします。■ 前洗浄設定が[有]でも前洗浄は行いません。■ 設備保護洗浄・凍結防止洗浄・手動洗浄は減少しません。■ センサが感知するたびに LED が２回瞬時点滅します。

❶：手動ボタンを押し続けます。

❷：１秒以内に１回目の吐水を開始します。

❸：いったん止水しますが、そのまま手動ボタンを押し続けます。

❹：２回目の吐水を開始したら、「手動ボタン」から手を離します。

【渇水モードを解除する手順】

❶：手動ボタンを押し続けます。

❷：１秒以内に１回目の吐水を開始します。

❸：いったん止水しますが、そのまま「手動ボタン」を押し続けます。

❹：２回目の吐水を開始したら「手動ボタン」から手を離します。

※ 渇水モードに切り替える際は、切り替わるまで手動ボタンをしっかり押し続けてください。途中で手を離すと渇水モードに切り替わりません。（解除する時も同じです）

※ 渇水モードは洗浄水量を半分程度に減らしており、臭いや汚れが残ることがあります。渇水時など給水制限のある場合に限ってご使用ください。

# 9 電池交換

電池交換の際は必ず**新品の単３アルカリ乾電池２本**を用意してください。

電池が消耗すると、感知窓の LED が１秒間隔で常時点滅してお知らせします。このサインが出たら、早めに電池を交換してください。

※上記サインが出てもしばらくは通常に動作を続けますが、やがて洗浄を停止します。

**❶：キャップを開ける。**

本体右側上部にある[ロック解除穴]につまようじを差し込み、奥に押し込みます。この状態でキャップを時計と反対方向へ回し、キャップの小さな突起と[ロック解除穴]が合ったところで上に引き上げます。

**❷：使用済みの電池を２本とも取り出す。**

洗浄動作中に電池を取り出すと水が出たままとなりますが、新しい電池を入れると止水します。

**❸：手動ボタンを２秒以上押す。**

制御回路がリセットされます。

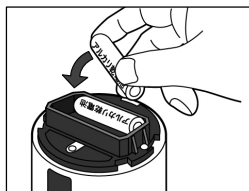
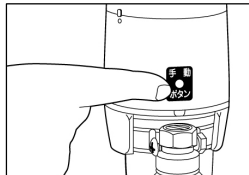
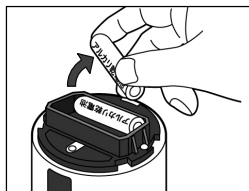
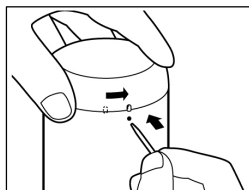
**❹：新しい乾電池を電池ケースにセットする。**

用意した新品の単３アルカリ乾電池２本の＋－を確かめて向きを間違えないようにきちんと差し込みます。

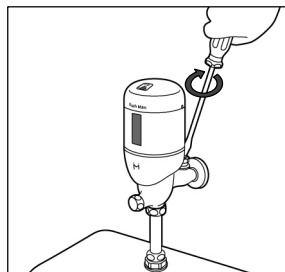
**※マンガン乾電池は絶対に使用しないでください。誤動作や電池液漏れの原因になります。**

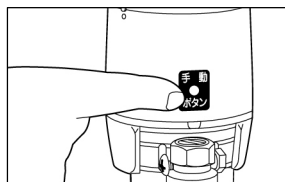
**❺：キャップを閉じる。**

キャップの小さな突起と本体の[ロック解除穴]を合わせてキャップを被せ、時計と同じ方向に「カチッ」と音がするまで回します。

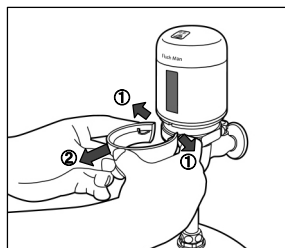
※電池装着後(制御回路リセット後)10 分間はセンサが感知すると LED が常時点灯します。

# 10 取り外し方法

❶. フラッシュバルブの止水栓を閉じる

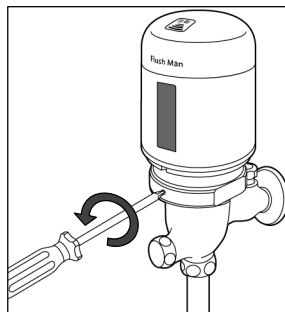
マイナスドライバーで、フラッシュバルブの止水栓を閉じてください。

❷. 本体背面の「手動ボタン」を押す

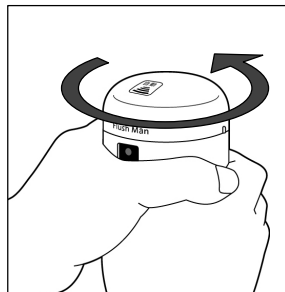
取り外しを容易にするために、本体背面の「手動ボタン」を２秒程度押し「フラッシュマン」内部にかかっている圧力を抜いてください。

❸. アンダーカバーを外す

① アンダーカバーの奥(壁側)の両端に指をかけ軽く外側へ開きます。

② 両端を開いたまま手前に引き出します。

❹. 固定ネジを緩める

プラスドライバーで固定ネジを時計と反対方向へ回し緩めます。

**※固定ネジを取り外す必要はありません。少し緩めれば本体を回せるようになります。**

❺. 本体取り外し

両手で本体をしっかりと持ち、時計と反対方向に回して取り外します。

# 11 ストレーナの清掃

❶. 本体を取り外す

P10［10：取り外し方法］の手順で取り外します。

❷. 弁座パッキンを外す

吐水口に付いている弁座パッキンを手でめくるようにして外す。

❸. ストレーナを取り外す

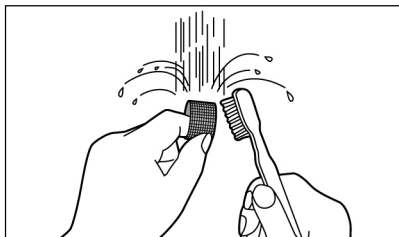
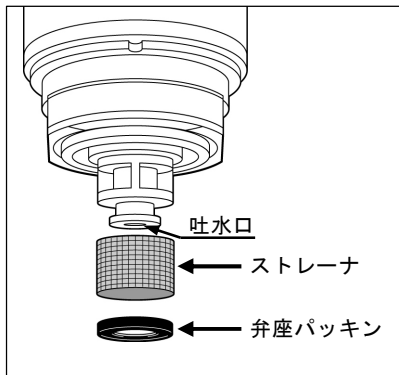
❹. ストレーナを清掃する

歯ブラシなどでこすりながら水洗いし、ゴミや汚れをよく落とす。

❺. ストレーナを取り付ける

きれいになったストレーナを元の位置に取り付け、弁座パッキンをはめる。

❻. 本体を取り付ける

本書Ｐ6「取付方法」の[5.本体装着]の手順で本体を取り付ける。

# 12 調 整

■ 感知距離の調整

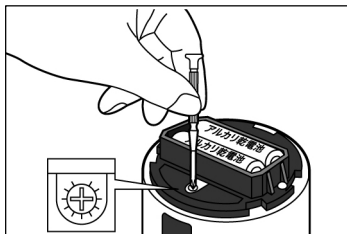
感知距離調整ボリュームで感知距離の調節をすることが出来ます。

このシールをめくると下に感知距離調整ボリュームがあります。

❶. 止水栓を閉じて電池を取り外す。

❷.「手動ボタン」を２秒以上押した後、再び電池をセットする。

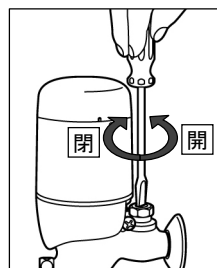
❸. 距離表示シールをめくり、調整ボリュームを「短」から「長」の方向へゆっくり回しながら、ご使用感度のよい距離の調整を行う。

※電池セット後 10 分間はセンサが感知すると LED が連続して点灯しますので、感知状態の目安にしてください。

■ 洗浄水量の調整

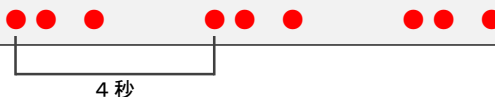
1． 洗浄時間の調整

設定スイッチの[2],[3]により選択します。P7の［５：設定スイッチ］を参照。

2． 水勢の調整

水勢は本体背面の止水栓をマイナスドライバーで回して開閉し調整します。

# 13 LEDの点滅パターン

【電池交換予告】

【動作停止表示】

【センサ連続検知 １０分間】

【洗浄停止モード表示】

【上記以外でＬＥＤが点灯する場合】

・電池を入れた直後（制御回路リセット直後）約０.５秒間点灯（回路動作開始の合図）

・初期動作(電池セット後の10分間)でセンサが感知状態の間連続して点灯（感知距離調整の為）

・通常動作でセンサが感知した直後に10m秒間のみ点灯

・渇水モードでセンサが感知した直後に10m秒間の点灯が１秒間隔で２回

・電池を取り外した直後に手動スイッチを押した時、ほんの僅かな時間点灯
（ＬＥＤ消灯と同時に動作を停止する）

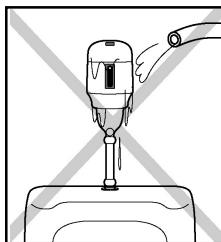
# 14 使用上のご注意

❶. 本器は電子機器です。丁寧に扱い、衝撃等を与えないでください。

❷. 本器に直接、水をかけないでください。故障の原因となります。

❸. お手入れの際は、次の点にご注意ください。
①汚れは乾いた布、または水をよく絞った布で拭いてください。
②酸性・アルカリ性洗剤・クレンザー類は使用しないでください。外装が傷ついたり、化学変化を起こして変質・変色します。
③本器をナイロンたわしやブラシ等でゴシゴシ擦らないでください。外装を損傷します。

❹. 本器取付後に尿石除去剤などを使用して便器・トラップ等の尿石除去作業を行う場合、分解ガスやミスト等が発生し、本器外装が化学変化を起こして変質・変色するおそれがあります。通気を良くして作業してください。

❺. 本器のセンサは赤外線反射方式ですので、使用者が黒っぽい衣服を着用している場合、センサが的確に感知しないことがあります。その場合は、感知窓に手をかざして動作させてください。

# 15 仕様

| | |
|---|---|
| 使用電源 | 単３アルカリ乾電池 × ２本 |
| 電池寿命 | ４０００回／月の使用（出荷時設定）で約３年 |
| センサ方式 | 赤外線反射方式 |
| 感知距離・角度 | 感知窓より５０cm以内(調整可能)、下向き２０° |
| 動作待機時間 | 前洗浄「有」の場合２秒間、「無」の場合６秒間 |
| 前洗浄 | 有(1～3秒で本洗浄時間に連動)・無　いずれかの設定が可能(出荷時設定「無」) |
| 本洗浄 | ３・５・８・１２秒の４段階で設定可能(出荷時設定５秒) |
| タイマー洗浄 | 最終使用の6時間後に自動洗浄、その後は24時間未使用ごとに自動洗浄 |
| 手動洗浄機能 | 背面の「手動ボタン」を１回押すごとに本洗浄時間吐水、連続吐水可能 |
| 簡易凍結防止機能 | 気温が３℃未満になると、気温に応じて10～30分ごとに本洗浄時間吐水<br>「入」「切」いずれかの設定が可能(出荷時設定「切」) |
| 電池消耗告知 | 赤ＬＥＤが１秒間隔で常時点滅 |
| 作動弁方式 | パイロット型電磁弁 |
| 給水圧力 | 最低水圧／０．０５MPa(流動時)が必要、最高水圧／０．７４MPa |
| 吐水量 | 出荷時設定で１回あたり約１．５㍑～２．３㍑(０．１０MPa) |
| 使用温度範囲 | 周囲１～５０℃(凍結防止機能「入」の場合－５℃まで)　水温１～４０℃ |
| 製品寸法 | 外径７４㎜×高さ１３５㎜(円筒状) |
| 重量 | ５６５ｇ |
| 外装 | ＡＢＳ樹脂（塗装）・黄銅(クロムメッキ仕上げ) |

# 16 「故障かな？」と思ったら

“故障かな？”と思ったら、以下の事項をご確認ください。それでも状況が改善されない場合は、ユーザーサポート窓口 0120-474-647 へお問合せください。

## 1 水が流れないとき

**センサが感知していない。　前に立ってもＬＥＤが点灯せず“カチッ”という動作音がしない。**

| 原　　因 | 処　　置 |
| --- | --- |
| ①電池が入っていない。 電池を正しく装着していない。 | ①電池を正しく入れてください。　→P9[9] |
| ②センサ感知距離が短い。 | ②感知距離を長くしてください。　→P11[12] |
| ③センサが壁やドアなどの“何か”を感知したままである。 | ③障害物を取り除くか、感知距離を短くしてください。→P11[12]<br>※障害者用の手すりを感知してしまう場合は「反射防止シート」(無償)をご利用ください。 |
| ④感知窓に太陽の直射光が当たっている。 | ④直射光を遮ってください。 |
| ⑤感知窓が汚れている。 | ⑤感知窓をきれいに拭いてください。 |
| ⑥使用者が黒っぽい衣服を着用している。 | ⑥感知窓の前に手をかざしてください。 |

**センサは感知しているが、水が流れない。水の出が悪い。前に立つとLED が１秒間点灯し“カチッ”という動作音がする。**

| 原　　因 | 処　　置 |
| --- | --- |
| ①フラッシュバルブの止水栓が閉じている。または十分開いていない。 | ①フラッシュバルブの止水栓を十分に開けてください。 |
| ②ストレーナの目詰まり。 | ②本体を取り外し、ストレーナを清掃してください。　→P11[11] |

## 2 水が止まらないとき

**センサが感知していない。前に立ってもLEDが点灯せず“カチッ”という動作音がしない。**

| 原　　因 | 処　　置 |
| --- | --- |
| ①電池が入っていない。 電池を正しく装着していない。 | ①電池を正しく入れてください。　→P9[9] |
| ②電池が消耗している。 | ②新しい電池（単３アルカリ乾電池２本）と交換してください。→P9[9] |

**本体を取り付けて止水栓を開けたら、水が便器へ流れ出し、止まらない。**

| 原　　因 | 処　　置 |
| --- | --- |
| ① 本体ネジ込み不足による封水不全。 | ①ラッシュバルブの止水栓を閉じてから本体を一旦取り外し、もう一度取り付け直してください。　→P10[10]  P6[4]5～P7[4]10 |

## 3 水がわずかに漏れ出しているとき

**本体取付フランジとフラッシュバルブの隙間から水が漏れている。**

| 原　　因 | 処　　置 |
| --- | --- |
| ①取付部分のパッキンにゴミがかんでいる。 | ①本体を一度取り外し、パッキンのゴミを取り除いてから取り付け直してください。 |
| ②フラッシュバルブ内面に錆やゴミなどが付着している。 | ②本体を取り外し、内面の錆・ゴミなどを布あるいはサンドペーパーでこすり落とし、きれいに拭き取ってから、取り付け直してください。 |

**便器内に水が「チョロチョロ」流れ出している。**

| 原　　因 | 処　　置 |
| --- | --- |
| ①寒冷地仕様のフラッシュバルブの凍結防止弁が開いている。 | ①凍結防止弁を閉じてから、再度水漏れの有無を確認してください。 |

## 4 その他

**LEDが常時点滅している。**

| 原　　因 | 処　　置 |
| --- | --- |
| ①電池が消耗している。 | ①新しい電池(単3アルカリ乾電池2本)と交換してください。　→P9[9] |

**誰も使用していないのに便器に水が流れている。**

| 原　　因 | 処　　置 |
| --- | --- |
| ①タイマーによる自動洗浄が行われている。 | ①トラップの水を保持するために最終使用後24時間ごとに行われるタイマー洗浄で、故障ではありません。 |
| ②簡易凍結防止機能が「入」になっている。気温の低下に伴い、凍結防止のための間欠吐水が行われている。 | ②凍結を防ぐため、気温が概ね３℃未満になると気温に 応じて10～30分ごとに吐水する機能で、故障ではありま せん。 必要のない場合は、簡易凍結防止機能を「切」にしてください。 →P7[5] |

## アフターサービス

本製品の保証期間はお買上日より 3 年間です。詳細は同梱の製品保証書をご覧ください。製品保証をお受けいただくためには、品番・製造番号・お客様名・工事店または販売店が明記された製品同梱の製品保証書のご呈示が必要です。本製品を設置またはお買上いただいた際は製品同梱の製品保証書に必要事項が明記されていることを必ずご確認いただき、紛失しないように保管してください。

修理のご相談はお求めの下記、取付店・販売店へ

| 取付店・販売店 | 〒<br>電話番号：　　-　　- |
|---|---|

ミナミサワでは取り付け・取り外しが簡単な特徴を活かして、お客様ご自身でも交換できる**交換修理**をご用意しております。

（株）ミナミサワ　ユーザーサポート窓口　0120-474-647

### 交換修理の流れ

**（株）ミナミサワから速やかに交換品（必要な場合は工具も同梱）を発送します。**

**同梱のマニュアルに従って、製品を交換してください。（作業時間は５～10分程度）**

**不具合品を同梱の着払い伝票を使ってご返送ください。**

※保証期間中は交換修理により製品を無償交換いたします。
※保証期間経過後は交換修理により製品を交換し、不具合品が戻った後修理代金をご請求いたします。
　但し、製造終了後６年を経過した製品については、アフターサービスをお受けできない場合があります。

<table>
<tr><th>製造元</th><th colspan="2">商品名</th></tr>
<tr><td rowspan="5">株式会社ミナミサワ<br>〒381-0044 長野県長野市中越1-2-22<br>http://www.minamisawa.co.jp<br><br>ユーザーサポート窓口<br>TEL：　0120-474-647<br>または026-263-3730（平日9:00-18:00）<br>FAX：　0120-263-403<br>または 026-263-8700（24時間）</td><td colspan="2">小便器用自動洗浄器　フラッシュマン</td></tr>
<tr><th>品番</th><th>製造番号</th></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><th colspan="2">購入年月日</th></tr>
<tr><td colspan="2">年　　月　　日</td></tr>
</table>